

学校経営の基本的な考え方			総合自己評 定	総合学校関係 者評定	
情報技術をベースとした専門高校として、「人ありて技術」の教育理念のもと、豊かな心、確かな学力・技術力を向上させ、将来を担うスペシャリストとなる人材を育成する。 ●めざす生徒像 「知・徳・体」バランスのとれた生徒を育てる～《最高の人材として、大学・社会に輩出》～ ①規則を守り、礼儀正しく、心豊かな生徒 ②自ら学び、創造性豊かな生徒 ③健康で、粘り強く努力する生徒			3	3.7	
番号	重点目標	達成手段	自己評定	学校関係 者評定	学校関係者コメント
1	学びの場としての安全教育・環境整備の推進	(1) 安全教育の推進 ①日頃から安全教育及びマナー教育・モラル教育に取り組み、危機管理意識の高揚を図る ②生徒の健康管理や事故防止等に係る研修、訓練の推進に努める（特に交通事故撲滅） ③教職員の健康管理や事故防止、不祥事防止等に係る研修を推進する ④個人情報等の管理徹底に努め、情報漏洩の防止を図る (2) 環境整備の推進 ①施設・設備等の環境整備の充実に努める ②生徒会活動の充実に努める（生徒が自主的に考え、行動できる力の育成） ③業務の効率化に努める（ワンアクション、ワントライ運動の推進） (3) 広報活動の充実 ①本校ならではの取組の充実と発信に努める（高校説明会・体験入学、出前授業等） ②ホームページの定期的更新と充実に努める ③地域貢献活動の推進に努める	3 3 3	3.5	○自転車通学のマナーがよくなっている。 ●下校時に無灯火での自転車が見受けられる。 ○佐土原駅前がよく見かけますが、規則は守っているようです。 ○銀歴際（体育祭・文化祭）の企画運営は、生徒会の自主性が感じられる。 ○「佐高だより」等からも、生徒が企画し積極的に参加している様子が覗える。 ○「佐高だより」はカラフルで学校の活動が分かり易くなっている。 ○H.P.を時々見えています。見やすいです。 ○「佐高だより」により、タイムリーな情報発信がなされている。 H.P.も早いサイクルで更新されていると感じる。 ○H.P.が随時更新されており、「佐高だより」の発行も頻回で、広報活動の積極的な取組が覗えます。
2	学力向上・キャリア教育の推進	(1) 学力向上の推進 ①生徒の授業への積極的参加と自己教育力、考える力の育成に努める ②教師全員の研究授業の充実と授業力向上の推進、授業方法に関する研修の推進を図る ③教科横断的な思考力育成のための教育課程の工夫改善に努める ④ものづくり教育を推進し、資格・検定取得の奨励に努める ⑤図書館の積極的利用と読書活動の推進に努める ⑥学力の向上を図るための組織の構築・研究・実践に努める (2) キャリア教育の推進 ①総合的な学習の時間、特別活動等を活用したキャリア教育の充実に努める ②進路面談指導（就職指導、進学指導）の充実を図る（特に、「就職コース」・「進学コース」選択に係るそれまでの指導、及びその後の指導） ③就職・進学課外や補習、面接・論文指導の充実を図る ④就職先・進学先開拓の推進に努める（第一希望進路先の保障） ⑤企業や大学、地域社会と連携した「キャリア教育」の推進	4 3	3.8	○資格・検定への指導及び達成度は評価できる。 ○銀歴際（文化祭）の部活動展示発表が、年々進化した取り組みになっている。 ○「最高の人材として、大学・社会に輩出」を実践されている。その成果として、進学・就職だけでなく、ロボット競技大会や防災アプリ等の優秀な成績に繋がっている。 ○就職と進学の両コースがある中で、学習プログラムが工夫され成果を上げていると感じます。 ○様々な全国レベルでのコンクールで優秀な成績を収められており、意欲的な姿勢が覗えます。 ○各種発表会において、入賞者が多数出ており評価できる。 ○中学生・小学生を持つ親御さんにも、進学・就職共に良いと言うことが理解されているようです。 ○模擬面接にも多くの企業が協力されているということ、佐高の人材に魅力があるからこそと感じる。
3	「心」を育てる教育の推進	①日頃の教育活動を通して思いやりのある、差別をしない・許さない態度、人権尊重の精神の育成に努めると共に、いじめや暴力等の未然防止と早期発見、迅速な対応に努める ②全校集会や学科別集会を通して集団行動、礼法指導、マナー指導の充実を図る ③清掃への専心と校外での清掃ボランティアの実施に努める ④文化・芸術活動の充実、体験学習・社会奉仕活動の推進を図る ⑤生徒及び保護者との信頼関係の醸成に努める。	3	3.6	○地域の施設や各種の行事等で、生徒自らがボランティア活動を行っており、良い傾向である。 ○生徒から自発的に挨拶をする姿勢（文化）が浸透している。 ○生徒の学校行事における姿勢は悠然としており、銀歴際の熱心ではつらつとした発表には好感が持てました。
4	「体」を育てる教育の推進	①健康・安全に関する教育の充実、食育の充実に努める ②部活動の推進を図る	3	3	●部活動の時間について、生徒・先生共に負担が過重になっていないか。（時間等についての指針はあるのか） ○「生産部」という部活動の領域が特徴的と感じました。
5	人材育成	①職員研修会の充実、各部署でのOJT充実を図る ②校外研修会への参加を推進する	3	3	○本校では、一昨年度までOJT推進について研究指定を受けており、経験豊富な職員から若手職員への技術伝承を含め、教育活動全般について学び合うことで、問題を一人で抱え込まずに、組織的に対応する職場環境づくりに役立っていると考えられる。 ●出張などで職員が解任できたことが、全職員に対して十分な還元されているかどうか疑問が残るところである。